

令和5年度 調布市立上ノ原小学校 学校評価報告書 (学校長 箱崎 高之)

学校の教育目標		
◎よく考え 進んで学習する子ども ○思いやりをもち 仲良くする子ども ○健康で 明るく元気な子ども		
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像		
目指す学校像 【ごきげんな学校】 (1) 児童にとって 「よろこびのある毎日が送れる学校」 【日々】 ・学んで分かるよろこび ・友達と関わることのできるよろこび ・心を解放して体を動かすよろこび 【長い目で】 ・自分の成長が実感できるよろこび ・自分の存在が認められるよろこび ・自分の将来に希望がもてるよろこび (2) 保護者, 地域にとって 「安心して任せられる私たちの学校」 ・よく見える学校→教育活動の積極的な発信 ・安心できる学校→素早く, 丁寧で誠実な対応 ・私たちの学校→協力, 協働の取組 (来校機会確保, 学校HP, メール配信) (子どもの成長を願って共に悩み, 喜び) (コミュニティ・スクール, 学校を核とした地域づくり) (3) 教職員にとって 「ごきげんな職場」 ・風通しのよい明るい職場 ・やりたいことができる職場 ・成長できる職場 (まずは挨拶, コミュニケーションをしっかりと) (できない, やらない理由を作らずにチャレンジ) (学び, 成長する機会の確保 職に誇りと責任を)		

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>						
1 豊かな心(徳)		2 確かな学力(知)		3 健やかな体(体)		
自己評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価
	①交換授業, 交換給食を通して子どもの良さを多面的に見取り, 自己肯定感・自己有用感を育む。	B	①週ごとの指導計画を作成, 提出し, 計画的な指導を行うとともに, 毎時間の授業においてねらい明示し, 振り返りを行う。	A	①挨拶を核とした基本的な生活習慣の定着を図る。	B
	②主体的に考え, 議論する道徳授業を実践する。いじめについて考える授業を全学級で各学期1回, 年間で3回行う。	B	②「主体的な学び」「深い学び」を実現する授業を目指し, 「対話」の視点で授業改善を進める。	B	②栄養士による給食メモ, 養護教諭による保健指導を通して, 心身の健康の保持増進に関する意識を高める。	B
	③学校生活アンケートの毎月実施。児童や保護者の声に耳を傾け, 素早く丁寧で誠実な対応をし, 心の居場所づくりに努める。	B	③モバイル端末を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びを推進する。	B	③ねらいを明確にし, 運動量を確保した体育授業を行うとともに, 持久走週間・なわ跳び週間を通して体力の向上を図る。	C
	(2) 成果(数値目標に対して→結果)	評価	(2) 成果(数値目標に対して→結果)	評価	(2) 成果(数値目標に対して→結果)	評価
①市・魅力ある学校調査「学校が楽しい」55%以上→55%	B	①国・学力調査・平均正答率国語 70%以上→71%・算数 70%以上→69%	B	①保護者アンケート「お子さんはすすんで挨拶ができる」A評価 60%以上→28%	C	
②国・児童質問紙「いじめ, どんな理由があってもいけない」90%以上→77%	C	②市・魅力ある学校調査「授業に主体的に取り組んでいる」45%以上→44%	B	②国・体力調査「朝食を毎日食べる」90%以上→88%, 「毎日8時間以上寝ている児童」70%以上→62%	B	
③市・魅力ある学校調査「みんなで何かをするのは楽しい」70%以上→68%	C	③市・魅力ある学校調査「授業がよく分かる」55%以上→51%	C	③都・体力調査「体力合計点」東京都平均以上を達成した学年(男女別) 75%→25%	C	
者評価	学校関係	・保護者アンケート「安心して生活」A評価 57% ・交換授業や交換給食, ゲストティーチャーなど多様な人と関わりをもてるのがよい。 ・学校が楽しいと思える取組に力を入れてほしい。	・保護者アンケート「学校は, 分かりやすい授業を進めている」A評価 46.3% ・モバイル端末が効果的に活用されている。 ・主体的に学習に取り組む体制ができています。	・保護者アンケート「体力向上に努めている」A評価 44%, 「言葉づかい」A評価 29.5% ・給食メモが効果的である。 ・休み時間に外遊びができる日が少ない。		

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>					
4 保護者・地域との連携			5 美しい環境の学校づくり		
自己評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価	
	①保護者の来校機会を毎月確保する。HPを年間150回更新する。	A	①靴箱の靴をそろえることや清掃の指導を継続して行う。	B	
	②学校運営協議会で熟議を重ね, 地域とともにある学校づくりを進める。	A	②テニスボール装着, 教室ロッカー, 壁, 掲示板の改修を計画的に行う。	A	
	(2) 成果(数値目標に対して)	評価	(2) 成果(数値目標に対して)	評価	
①保護者アンケート「保護者と協力した教育活動」A評価 60%以上→50%	B	①靴箱の靴がそろっている学級, 清掃が行き届いた学級 50%以上→52%	B		
②保護者アンケート「地域と協力した教育活動」A評価 50%以上→50%	A	②30%以上の教室を改修する。→12教室(44%)実施	A		
者評価	学校関係	・HPがこまめに更新されていて学校の様子が分かるのがとても良い。 ・コミュニティ・スクールの活動は素晴らしい。保護者との関わりをもう少し取り入れるとよい。 ・コミュニティ・スクールの取組が保護者にも理解されているようでよかった。	・保護者アンケート「教育環境の整備」A評価 42.6% ・トイレの暗さやにおいが気になる。また, 廊下や階段が汚い。 ・予算がかかることも多いができることからやれるとよい。 ・美化活動の取組がよくできていた。清掃指導により一層力を注いでほしい。		

人材育成・組織運営	
自己評価	○授業力の向上 ・教科担任, 交換給食を生かしたOJTが実施できた。・校内授業公開64回実施による学び合いの機会確保できた。 ○校務分掌等の活性化 ・3名の主幹教諭を核とした組織運営を推進した。・起案文書の流れを徹底し, 職の立場と役割を明確にし, 意識を向上させた。 ○服務規律の徹底 ・定期的な研修とサービスニュースレターを活用し, 教育公務員としての自覚と人権意識を高める取組を進めた。 ○ワーク・ライフバランスの推進 ・校務支援システムを活用し業務を効率化させ, 1か月の時間外勤務45時間以内の教員の割合を94.6%とした。
者評価	・教科担任等, 前衛的な取組は高い評価に値する。 ・学校内での細かい打ち合わせによる情報共有, 意思統一などがよく行われていた。 ・先生は多くの仕事を抱え, 毎日大変そうだが, 忙しい中でも時間の割り振りに努力しているように見える。 ・常に向上心を持って取り組んでいる点が素晴らしい。 ・「ごきげんな学校」という目標のもと, 教員が自らの役割を自覚し, 意欲的に取り組んでいると感じる。

中期的な経営目標の達成状況	
1	人と人との良い関係を築く力の育成については, 新型コロナウイルス禍の影響が残っており, 児童同士の関わりを増やすことが課題である。
2	自ら課題を発見し, 解決していく力の育成については, まだ十分達成しているとは言えず, 校内研究を通して児童の主体性を育むことが課題である。
3	心と体を鍛え, 前向きに行動する力の育成については, 体力テストの数値, 運動の日常化においても課題が残る。
4	学校・家庭・地域が協働して子どもたちの豊かな成長を支えていく学校づくりについては, コミュニティ・スクールとして良いスタートを切れた。
5	美しい環境の学校づくりについては, 階段壁面塗装や教室ロッカー, 掲示板の補修など進めることができた。児童, 教職員の意識を高める必要がある。
人・組	・ライフ・ワークバランスの推進については, 教科担任制や校務システムの活用, 教育課程の工夫でかなり改善された。

次年度の重点課題	
○挨拶を核とした基本的な生活習慣の定着○個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ, 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善○コミュニティ・スクールの取組	